

第39回 大阪国際女子マラソン記念対談

現在、新設工事が進められている「新横浜トンネル」は、大阪国際女子マラソンをサポートしている奥村組を中心とした共同企業体(奥村・佐藤・青木あすなろ・NB 特定建設工事共同企業体)が工事を施工しています。そこで、今回、スポーツジャーナリストの増田明美さんがその建設現場を訪問し、奥村組の奥村太加典社長に、建設という仕事とマラソンの共通点、そして大阪国際女子マラソン大会サポートへの思いをお聞きしました。

ゴールを目指して 支えているのは 綿密な準備、技術、情熱

しっかりと準備して スタートラインに

増田 すいスケールですね！このように大きな工事現場に来たのは初めてです。ここではどのような工事が行われているのでしょうか？

奥村 2020年令和4年度下期に開業目標の相鉄・東急直通線整備主体(相鉄・東急直通線)のうち新橋島駅と新横浜駅(ともに仮称)をつなぐ長さ3.304kmの地下トンネルを掘削する工事を行っています。

増田 今、わたしがいるのは、どのあたりなのでしょう？

奥村 掘り始めてから約1,400m、新横浜駅まで約1900mほどの距離になります。

増田 マラソンコースで例えると、折り返し地点の少し手前くらいでしょうか。大勢の人がこれだけ大きな機械を使って工事を一日に、これだけの掘り進みが出てくるのですか？

奥村 おお、それは驚きですね。掘削機で安全な地中を掘り進めるシールド工法でつくられているのですが、このシールドの形状や掘削する地盤など、その工事に合わせて、一から設計します。工場で作ったシールドマシンは、いったん分解して現場に運びこみ、再度組み立て、いよいよ掘削スタートです。ここまでおおよそ2年以上かかるのです。

増田 それは大変な準備ですね！スタート地点に立つまでの準備が、これだけ大変なことは、マラソンに通じるのではないでしょうか。選手も出場するレースが決まったら、半年前から準備します。時には1日40〜50



現場の一步一歩に ドラマ

増田 トンネルの先端部分、大きなコンクリートのブロックが一枚ずつ機械を使って精密に組み立てられていく様子には圧巻です。



奥村 シールドマシンで掘り進む部分が開けてこないよう、メカメカと呼ばれているシールドの外壁となるロックを積み立てている様子です。少しづつですが、力強く、着実に前に進んでいることがわかります。いたづらにはなりません。

増田 マラソンの場合、景色やタイムを見て、自分ごとになっているのか、コンディションはどうかを確認しますが、掘削の様子を見るのができない地下の工事では、どのように状況を把握しているのでしょうか？

奥村 シールドマシンの掘削状況はトンネル内の地盤状況などはすべて発進地点近くにある中央管理室で、最新のコンピュータにより24時間体制で管理・確認しています。また、掘削した際に出る土や石を運び出すために、一日に延べ200台ものダンパーが現場に入りますが、掘削交通



への影響を最小限抑えながらスムーズに工事が進められるようGPSで位置情報を把握するなど、徹底した管理を行っています。トンネル工事は、マシン同様、安定したインベントで進むことが大切です。そのため日々さまざまなチェックを行っています。



増田 長い道のりを完走するために、地道な努力が行われているんですね。

奥村 われわれが手掛ける工事は数年、かりのものも多く、とても長い時間と労力がかかっています。工事に着手する前には、調査から計画、の完成まで、それらの段階でコストと労力を重ねて、課題を乗り越えながらゴールに向かっていきます。入念な準備努力を重ねていく持続



走り続ける 人たちを応援

奥村 建設の仕事は、努力と準備。これまで培った技術力、そして何よりも関係する全ての人の支えがプロジェクトの進行を加速させる大きなパワーとなります。だからこそ、工事がしゅん功したときの感動は何物にも代え難いものがあります。

増田 そうですね。それはマラソンにも通じることだと思います。走っているときは一人ですが、実は背後にはいろいろな協力者がいます。監督、コーチ、トレーナー、栄養士、シューズを作る人、一緒に練習した仲間、そして家族。まさにチームワーク。こうした支えがあるから走れるわけですね。この点も、マラソンが多くの人の感動を呼ぶ理由になっていると思います。

増田 今年も大阪国際女子マラソンをサポートされています。

奥村 今日、増田さんが現場を見学されて感じていただいたことが、まさにサポートさせていただいている理由です。今回も多くの有方ランナーがエントリーしており、さらにはレースになることを期待しています。協賛会社として、しっかりとサポートしていきたいと思っています。

増田 現場では、女性が生き生きと働く姿が印象的でした。選手もそうですが、夢を走り続ける女性たちはステキです。今年の大阪国際女子マラソンは、これまでにも注目される大会になりました。楽しみに、今日は本誌にありがとうございました。



建設が好きだ。
奥村組
OKUMURA CORPORATION

堅実に、誠実に、113年

株式会社 奥村組 大阪市阿倍野区松崎町2-2-2
https://www.okumuragumi.co.jp/

1907(明治40)年に創業した奥村組は、「堅実経営」「誠実施工」を信条に、土木・建築分野で独自の技術開発に取り組み高い評価を得ている。得意とするトンネル工事では、「シールドマシン」と呼ばれる筒状のトンネル掘削機で安全に地中を掘り進める「シールド工法」に強みを持つ。また、地盤から建物を守る「免震技術」のノウハウとしても知られ、1986(昭和61)年に日本初の実用免震ビルを建設。以来、免震マンションや免震ビル、文化財を守る免震装置の普及などに貢献している。



第39回 大阪国際女子マラソン

東京五輪マラソン代表の最後の一戦を争うMGCファイナルチャレンジの一つ。五輪最後の一戦をかけ、例年以上に自然したレース展開が期待される。今年の号誌は1月26日(日)12:10 キャンパススタム長居